

増山雪斎と伊勢長島藩のお殿様

10/24(土) ▶ 11/29(日)

生きもの好きな
子どもたちにも
おすすめ!

お殿様
愛でる虫を



伊勢国長島藩主増山正賢の子として江戸で生まれた増山雪斎(1754~1819)は、安永5年(1776)に長島藩二万石を襲封しました。名は正賢といい、「雪斎」はその号です。雅事を好んだ雪斎は詩や書画をよくし、その芸域は多方面に及んでいます。

雪斎は、大坂城の警備を補佐する加番を四度勤めて政務に取り組むとともに、大坂から十時梅屋を藩儒に迎え、藩校「文礼館」を再興するなど、長島の文化振興に大きな役割を果たしました。

令和8年(2026)は、増山雪斎が藩主に就任してから250年を迎える節目の年です。これを記念して、雪斎を中心に、代々長島藩を治めた増山家のお殿様たちをご紹介します。



増山雪斎《虫豸帖 夏》東京国立博物館蔵 後期展示場面
Image: TNM Image Archives



増山雪斎《虫豸帖 秋》東京国立博物館蔵 前期展示場面
Image: TNM Image Archives



増山雪斎《孔雀図》三重県立美術館蔵

*会期中、一部作品の場面替えを行います。前期展示 10/24~11/15、後期展示 11/17~11/29。期間表記のない作品は通期での展示を予定しています。

休館日 | 毎週月曜日(ただし祝日の場合は開館、翌日休館)

開館時間 | 9:30~17:00(入館は16:30まで)

入館料 | 一般(高校生以上)500円、中学生以下無料、
20人以上の団体は1人400円
・障がい者手帳などをお持ちの人とその介助者1人は無料
・メルマガ会員はクーポン画面またはそれを
プリントアウトしたものを提示すると
本人および同伴者合わせて2人まで1人400円

助成 | 公益財団法人岡田文化財団



桑名市博物館

京町37番地1
☎ 21-3171 FAX 21-3173

MASHIYAMA SESSAI and the Lords of the Ise-Nagashima Domain

ユネスコ無形文化遺産記載に向けて

伊勢大神楽、桑名から世界へ

令和7年11月28日に開催された文化審議会無形文化遺産部会において、令和7年度のユネスコ無形文化遺産(人類の無形文化遺産の代表的な一覧表)への提案候補として「神楽」が選定され、同日無形文化遺産保護条約関係省庁連絡会議において提案案件として了承されました。

全国には4,000を超える神楽があり、そのうち40件が国の重要無形民俗文化財に指定されています。この40件で構成される「神楽」が提案候補として選定され、その一つに、「桑名の伊勢大神楽」も含まれています。

伊勢大神楽とは

江戸時代、伊勢神宮に行きたくても行けない庶民のために、伊勢神宮の使いとして日本各地を巡り、獅子舞とともに神札を配ったことに由来すると伝えられる神事芸能です。

桑名を拠点に450年以上受け継がれてきました。

今後の予定

日本は既に、23件がユネスコ無形文化遺産に記載されています。他国と比較して記載件数が多いため、ユネスコ無形文化遺産の審査はおおむね2年に1件のペースとなっています。伊勢大神楽を含む「神楽」は、令和10年12月ごろに政府間委員会で審議され、記載の可否が決定する見通しです。



伊勢大神楽の奉舞が神館神社で行われます。

とき 10/13(火) 13:00~15:00

場所 神館神社(大字江場1441)
神社には駐車場がありませんので、
徒歩か自転車でお越しください。

入場
無料

桑名の伊勢大神楽も出演する、第68回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会三重大会が桑名市で開催されます。

とき 11/1(日) 12:30~(開場12:00)

場所 柿安シティホール 大ホール

入場
無料



提供:
(一社)伊勢大神楽講社

問 観光課 ☎ 24-1361 FAX 24-1140